

JAIR Newsletter

No. 181 October 2024

日本国際政治学会


<https://jair.or.jp/>

[目次]

巻頭言.....	1	2024 年度研究大会 部会企画・自由論題募集.....	4
事務局からのお知らせ.....	2	理事会便り.....	5
2024～26 年期組織図・構成.....	2	編集後記.....	7

国際政治学会における歴史研究

後藤春美

日本国際政治学会は外交史研究、国際関係史研究を一分野として含んでいるが、これは、歴史研究の立場からすると貴重である。というのも、たとえば学会外で筆者が比較的良好に知る西洋史研究一般を見回してみれば、主流のテーマは身体史や感情史などその時々の流行によって変化するが、近年ではそれは外交でも国際政治でもないからである。

文書館史料や個人文書を渉猟するという外交史、国際関係史の手法を伝統的すぎると考える歴史家も多いのかもしれない。確かに、2020 年に突如として我々の世界に COVID-19 が侵入してくるまでは、外国の史料館に赴いての史料収集は随分と容易になっていた。長期休暇中の海外の史料館では、楽しそうに史料をカメラ撮影する多くの日本人研究者に出会ったものである。筆者自身も楽しい時を過ごした一人である。

筆者は、研究しつくされたように思われる時代に関しても、対話する我々の側の時代状況の移り変わりによって、大量の史料を読むという伝統的な手法から新鮮な着想や解釈は生まれ続けているし、日本の研究者が国際社会に貢献できることも多いと考えている。ここでは貢献すべき点と、逆に問題点につき、1 つずつ挙げてみよう。

まず、貢献すべき点について。例えば 20 世紀両大戦間期に関して英語で書かれた「概説に近い研究書」や当該時期の東アジアに少しだけふれる書物の場合、参照している二次文献が依然として 1960 年代、70 年代のものということもままある。その後の日本での研究はほとんど参照されていない。これが乗り越えるべき壁であることは言うまでもないであろう。

日本語を母語とする者と外国語を母語とする者とは、これまで参照してきた文献もメンタルマップも異なる。日本語の文章を単に外国語訳しただけでは相手に届かない。また、英語話者の関心は、やはりイギリス、アメリカ、EU などにあり、両大戦間期の日本に軸足を置いた国際関係史では読者が少なく、良い出版社を見つけるのも困難なのが実情であろう。多くの人がまず手にする概説書にまで食い込むのはさらに難しい。そうではあっても、日本での研究を伝える努力をしなければ、止まった時はそのままになってしまう。

次に問題点についてであるが、容易になっていた史料収集には落とし穴も潜んでいたように感じる。既存の概説的研究あるいは外国の研究者の手になる研究によって大体わかっていたことを、単に一次史料の量を増やして検討しただけのように見える研究も生み出されていた。新鮮な着想、切り口、解釈などがあまりない、一次史料の量が多いだけの歴史研究は、何かを追加できていたのだろうか。

円安の時代にこそ、海外に赴くための研究費や奨学金の充実が必要となるだろう。また研究する側もデジタル化された史料の活用は当然として、理論研究との架橋など新たな研究方法の模索も続けて行く必要があるだろう。



事務局からのお知らせ

1. 新入会員の承認

第2回理事会（2024年9月21日開催）で入会申込書等が回覧され、計24名の新入会員が承認されました。会費の納入を持って正式に会員となりますので、入会を承認された方々は会費を納入してくださいよう、お願いいたします。

2. 会員登録情報更新のお願い

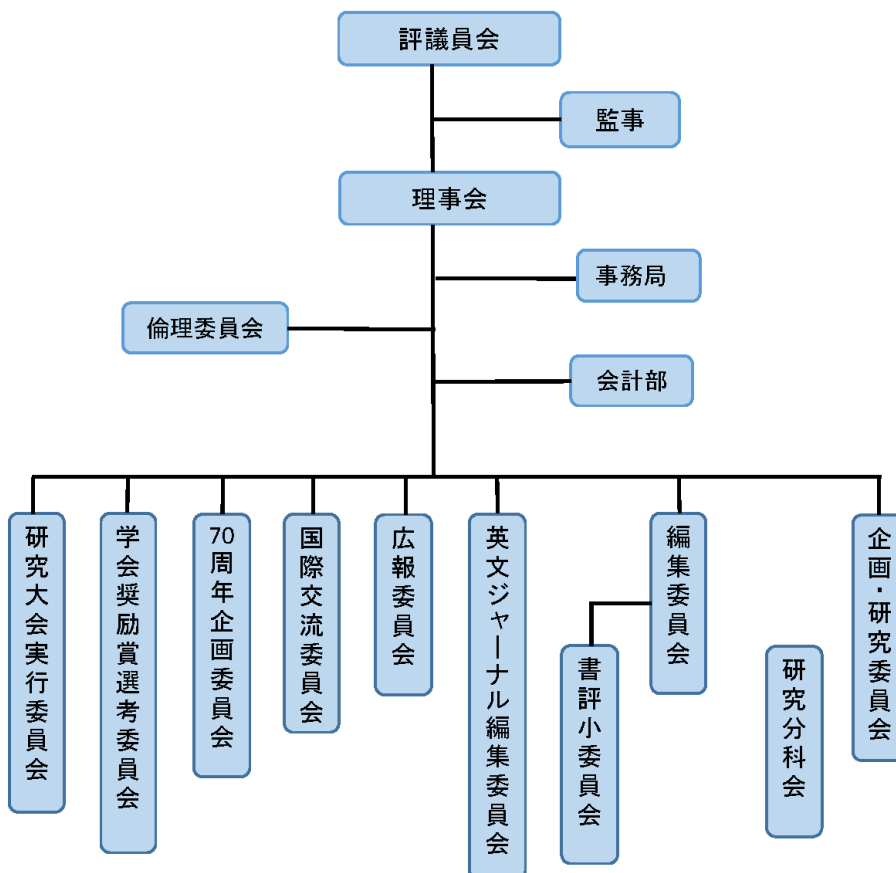
会員の皆様の所属機関や学会誌送付先住所に変更があった場合には、会員登録情報の更新をお願いいたします。皆様の学会活動の円滑化のため、メールアドレスの登録・更新にご協力ください。学会ウェブサイトの「会員データ変更」から「オンライン会員情報管理システム（e-naf）」に入り、修正・追加もしくは変更の申請を行っていただけます（<https://www.e-naf.jp/JAIR/member/login.php>）。

2024-2026年期理事長 遠藤貢
2024-2026年期事務局主任 湯川拓

2024～26年期組織図・構成（2024年10月1日現在）

一般財団法人日本国際政治学会 組織図

[2024年10月1日現在]



一般財団法人日本国際政治学会 組織構成

評議員	秋山信将、飯田敬輔、石田淳、岩間陽子、遠藤乾、大島美穂、大矢根聡、酒井啓子、佐々木卓也、高原明生、中西寛
監事	楠綾子、山田哲也
理事会	遠藤貢（理事長）、遠藤誠治（副理事長）、湯川拓（常任理事）、青野利彦、板橋拓己、井上正也、葛谷彩、倉科一希、佐橋亮、下谷内奈緒、末近浩太、多湖淳、錦田愛子、森井裕一
事務局	湯川拓（主）、鈴木啓之（副）、藤田将史（副）、吉本郁（副） 石田美貴（アシスタント）
会計部	森井裕一（主）、上英明（副） 馬淵智美（アシスタント）
倫理委員会	遠藤誠治（主）、石川卓、柄谷利恵子、佐々木寛、向和歌奈
企画・研究委員会	板橋拓己（主）、錦田愛子（副）、池本大輔、臼井陽一郎、小浜祥子、佐々木雄一、武内進一、津田久美子、山尾大 研究分科会ブロックA幹事、B幹事、C幹事、D幹事
研究分科会	研究分科会代表幹事：浦部浩之 【ブロック幹事】 ブロックA（歴史系）：鳥潟優子、ブロックB（地域系）：浦部浩之 ブロックC（理論系）：三浦秀之、ブロックD（非国家主体系）：大野聖良 院生・若手研究：：富田健司
編集委員会	倉科一希（主）、青野利彦（副）、田中（坂部）有佳子（副） 『国際政治』編集担当者 研究分科会ブロックA幹事、B幹事、C幹事、D幹事
書評小委員会	小川浩之会員（主）、阿曾沼春菜、今井宏平、河本和子、久保田裕次、古泉達矢、長久明日香、畠山京子、村上友章、吉留公太、和田萌
英文ジャーナル 編集委員会	多湖淳（主）、伊藤岳、籠谷公司、松村尚子、Lai-Ha Chan、Mi Hwa Hong、Jiyoung Ko、Edward Newman、Hiroki Takeuchi、Seanon Wong 編集スタッフ：氏家佐江子、桑原洋子
広報委員会	下谷内奈緒（主）、佐橋亮（副） 小林哲（アシスタント）
国際交流委員会	井上正也（主）、富樫あゆみ（副）、植木千可子
70周年企画委員会	葛谷彩（主）、末近浩太（副）
学会奨励賞 選考委員会	後藤春美（主）、上原良子、大中真、佐藤尚平、永井史男、服部龍二、望月康恵
研究大会 実行委員長	2024年度 中内政貴（札幌大会） 2025年度 中嶋啓雄（神戸大会）

研究分科会責任者連絡会議			
Aブロック（歴史系）		Bブロック（地域系）	
日本外交史	吉田真吾	ロシア東欧	加藤美保子
東アジア国際政治史	福田円	東アジア	土屋貴裕
欧州国際政治史・欧州研究	鳥潟優子	東南アジア	井原伸浩
アメリカ政治外交	島村直幸	中東	千葉悠志
		ラテンアメリカ	浦部浩之
		アフリカ	荒木圭子
Cブロック（理論系）		Dブロック（非国家主体系）	
理論と方法	久保田徳仁	国際交流	井上浩子
国際統合	東野篤子	トランスナショナル	細田晴子
安全保障	栗田真広	国連研究	藤重博美
国際政治経済	三浦聡	平和研究	古澤嘉朗
政策決定	三浦秀之	ジェンダー	大野聖良
		環境	中山賢司
院生・若手研究	富田健司		

2025 年度研究大会 部会企画・自由論題募集のお知らせ

2025 年度研究大会（神戸国際会議場（兵庫県神戸市）、2025 年 10 月 17～19 日）での部会企画の提案及び自由論題（部会）の報告希望を募集致します。応募に必要な事項は以下の通りです。応募に際して、報告者についての下記の内記を確認していただくようお願い致します。なお、部会（自由論題部会を含む）での報告者には、ペーパーの提出が義務づけられています。

締め切り：**2024 年 12 月 13 日（金）（必着）**

送付方法：応募は e-mail または郵送にてお願い致します。

(1) 送付先：〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学法学部 板橋拓己

e-mail：itabashi☆j.u-tokyo.ac.jp（☆を@に置き換えてください）

メールの件名または封筒に「日本国際政治学会 2025 年度研究大会部会企画・報告応募」と明記してください（郵送の場合は、学内の配達に時間を要するため、都内からでも投函翌日に届かないこともあるので、余裕を持って発送してください）。

(2) 応募に必要な事項

①部会企画案

(i) テーマ、(ii) 趣旨（800 字～1200 字程度）、(iii) 報告者（3 名程度）、司会者、討論者（2 名程度）などを記すこと。英語で実施する場合は、その旨も明記してください。

②自由論題報告案

(i) テーマ、(ii) 要旨（800 字～1200 字程度）などを記すこと。英語で実施する場合は、その旨を明

記してください。

- ③部会企画の提案者もしくは自由論題の報告希望者のいずれも、氏名、所属、職名、連絡先（住所、電話番号、e-mail アドレス）を記すこと。

応募用紙は、学会ウェブサイト（<https://jair.or.jp/committee/kikaku/10625.html>）からダウンロードできます。

部会参加に関して、以下の事項が内規に定められていますので、ご注意ください。

1. 部会参加者は、原則として、会員及び入会申請中の者とする。
2. 一般会員が、部会及び自由論題部会において報告を行う場合、応募時において過去 2 年間（2023 年度、2024 年度）に開催された研究大会の部会で報告を行った会員（申請中を含む）は報告者の候補たりえない。この原則は司会者及び討論者については適用されないものとするが、なるべく同じ会員の登壇は控えることとする。
3. 学生会員が、部会及び自由論題部会において報告を行う場合、応募時において過去 1 年間（2024 年度）に開催された研究大会の部会で報告を行う会員（申請中を含む）は、報告者の候補たりえない。この原則は司会者及び討論者については適用されないものとするが、なるべく同じ会員の登壇は控えることとする。
4. 自由論題部会にて報告を行う場合、上記の 2. 及び 3. に加え、応募時において過去 2 年間（2023 年度、2024 年度）に開催された研究大会の分科会で報告を行っていない会員（申請中を含む）、学生会員の場合は過去 1 年（2024 年度）の大会で報告していない会員が優先される。

企画・研究委員会主任 板橋拓己

理事会便り

編集委員会からのお知らせ

『国際政治』221 号の投稿募集を開始しております。詳細はウェブサイトをご覧ください。

『国際政治』221 号「脱植民地化をめぐる歴史的諸様相：その理念と展開」（仮）

池田亮 会員編集担当

申込締切：2025 年 4 月 30 日

原稿締切：2026 年 3 月 31 日

投稿募集要項はこちらから。

<https://jair.or.jp/committee/henshu/10655.html>

『国際政治』222 号の投稿募集を開始しております。詳細はウェブサイトをご覧ください。

『国際政治』222 号「南アジア研究と国際政治学の対話」（仮）

伊豆山真理 会員編集担当

申込締切：2025 年 6 月 30 日

原稿締切：2026 年 5 月 31 日

投稿募集要項はこちらから。

<https://jair.or.jp/committee/henshu/10686.html>

原稿を提出する際の執筆要領はこちらから。

<https://jair.or.jp/wp-content/uploads/documents/shippitsuyoryo.pdf>

なお、独立論文の投稿は随時受け付けています。投稿の申し込み先などは『国際政治』各号の末尾に記載されておりますのでご覧ください。特集号、独立論文ともに、会員の皆様の投稿をお待ちしております。

編集委員会 主任 倉科一希

副主任 青野利彦・田中（坂部）有佳子

jair-edit@jair.or.jp

（☆を@に変えてください）

国際交流委員会からのお知らせ

2024 年度国際学術交流助成（第 2 回募集）への申請を公募しております。申請資格・助成対象・申請方法の詳細については、以下のページをご参照ください。申請用紙も本ページよりダウンロードいただけます。

<https://jair.or.jp/committee/kokusaikoryu/9605.html>

募集の締切は 12 月 2 日（月）、一橋事務所必着です。

2024 年度第 1 回国際学術交流助成は、審議の結果、重松尚（日本学術振興会特別研究員／ヴィータウタス・マグヌス大学政治科学外交学部提携准教授）会員、舛方周一郎（東京外国語大学）会員への助成が決定いたしました。お二人の報告は 180 号に掲載済みです。

国際交流委員会主任 井上正也

広報委員会からのお知らせ

学会ウェブサイトでは、会員の皆様からのシンポジウム等のお知らせや新刊紹介などを随時掲載しております。情報交換・共有の場としてご活用ください。掲載を希望される場合は、ウェブサイトの「お知らせ投稿フォーム」(<https://jair.or.jp/membership/information/form.html>) をご利用のうえ、ご投稿ください。統一的な記録を残していく必要がありますので、お手数ですが、上記のフォームへの記載をお願いいたします。パスワードは、「オンライン会員情報管理システム (e-naf)」内に掲載されております。e-naf にログインいただきご確認ください。

その他、ニューズレターやウェブサイトに関してお問い合わせ等がありましたら、広報委員会 (jair-pr☆jair.or.jp) にご連絡ください。(☆を@に置き換えてください)

広報委員会主任 下谷内奈緒

■編集後記

今号から新しい期の広報委員会がニューズレターを編集しています。多くの方々の協力によって無事に発行できることに感謝します。会員の皆様のお役に立てるよう努めますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。(NS)

ニューズレターと学会ウェブサイトでは、様々な情報を掲示しています。今は昔、大学構内で掲示板をみれば情報が得られたように、役に立つ媒体でありたいと思います。(RS)

ニューズレター167号（2021年4月）より掲載している「研究報告——国際政治研究の先端」について、会員みなさまからの投稿を募集しております。

募集要項などはウェブに掲載されておりますのでご参照ください。今期も引き続きよろしく願っています。(SK)

日本国際政治学会ニューズレター No.181

(2024 年 10 月 28 日発行)

発行人 遠藤 貢

編集人 下谷内 奈緒・佐橋 亮・小林 哲

〒187-0045 東京都小平市学園西町 1-29-1

一橋大学小平国際キャンパス国際共同研究センター 2 階 客員教官研究室 3

日本国際政治学会 一橋事務所気付

下谷内 奈緒 jair-pr☆jair.or.jp